



収穫までの管理作業



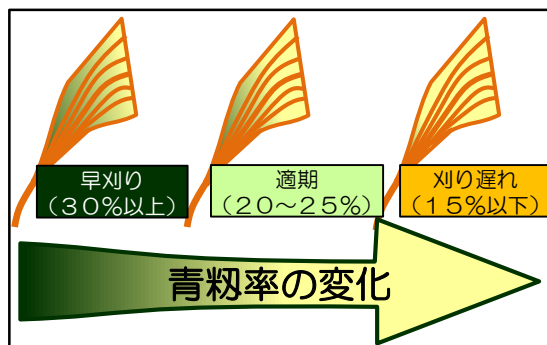
(適期収穫と坪枯れ防止で収量・品質を向上させましょう!)

1. 適期収穫・乾燥調製～収量・品質は最後の作業で確定します!～

*ポイント

収穫適期は、穂全体の青糲率で判断

* 収穫適期の青糲率及び出穂後日数のめやすは、右表のとおりです。



品種別の、収穫適期の青糲率及び出穂後日数

品種名	青糲率	出穂後
ひとめぼれ	20%	42日頃
ヒノヒカリ	20~25%	44日頃
あきまさり	20%	49日頃

- 早過ぎる落水は、白未熟粒等の発生による品質低下の原因となります。排水不良田を除き、収穫の10~7日前まで間断灌水を続けましょう。
- 収穫後は速やかに乾燥し、糲水分14.5~15%に調製しましょう。

2. トビイロウンカ防除～多発年は坪枯れによる減収の恐れあり～

*ポイント

* トビイロウンカは成虫・幼虫ともにツヤのある茶色の害虫です。

① トビイロウンカの防除時期及び薬剤

防除時期	薬剤名
飛来情報が出た場合	スタークル粒剤等
株元で幼虫または成虫(細長い長翅型・丸い短翅型)が1頭でも見付かった場合	ビームエイトスタークルゾル、ビームスタークル粉剤5DL等

② 坪枯れが発生した場合は刈り分けし、品質維持を優先

本年はトビイロウンカの飛来が早く、収穫期の多発が警戒されます! 飛来情報及び発生状況に注意し、被害防止に努めましょう!

3. 機械作業は安全第一～普段から、余裕を持って慎重に～

*事故防止のポイント

- ① 作業前後の点検で不具合防止 *故障の早期発見につながります。
- ② 体型に合った作業服の着用 *タオル等は別途収納しましょう。
- ③ 作業は安全を確認してから *機械の動く範囲は立入り禁止です。
- ④ 不具合はエンジン等が止まってから調整 *事故の多くがこの時です。

• 収穫時に手こぎを行う場合は、必ず素手で作業しましょう。